

電波の観測からは可視光の観測とは大きく異なる情報を得ることができる。また、大きく異なる観測技術を使っている。波長が長い電磁波を観測するということは、輻射の波の性質が大きく出てくることになる。波長が長いということは、光子のエネルギーが低いということでもある。これは、電波の観測から、私たちは低温の場所の情報を得ることができることを示している。たとえば、私たちはパート4で、電波の観測からどのように星の形成についてわかるかを見ていくことになる。私たちは、また高エネルギーの天体から、そのエネルギーの多くを波長が長いところで放射していることも見ていくことになる。このために、電波の観測から、高エネルギー減少に着いて知る方法を得ることもできる。

電波天文学は、カール・ジャンスキー (Karl Jansky) の偶然の発見から始まる。